

## 1年 道徳学習指導案

1年1組 31名 指導者 東 明 美

## 1 総合主題名 なかよく いきる

## 2 総合主題について

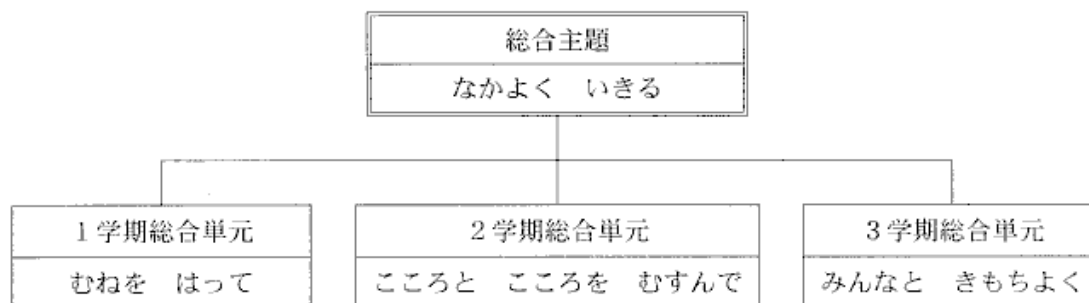
4月、初めての小学校生活に期待をふくらませ、瞳を輝かせて31名の児童が入学してきた。どの児童も一日も早く学校生活に慣れ親しもうと意欲に満ちている。

その反面、遊びを通して学んできた幼稚園での生活と違い、小学校での生活では様々な学校のきまりや課題が課せられるため、児童にはその生活の違いにとまどいがみられる。教師としては、一日も早く小学校生活に慣れて欲しいと願って1学期を過ごした。

本学級は、明るく活発で友達とも積極的にかかわろうとする児童が多い。一人一人素直で、優しさも思いやりもあり、「友達がたくさん欲しい。」「友達と仲よくしたい。」「みんなと一緒に遊びたい。」という願いを持っている。しかし、相手の気持ちを考えたり、お互いに譲り合うということがうまくできないことが多い。また、一時的な感情で周りの友達に迷惑をかけてしまったり、喧嘩になったりすることもある。自分をどのように表現したらよいのかわからず、よさを充分生かしきれてない子もいる。教師は、自分を自分でする力を育成するとともに、お互いによさを認め合い、お互いに励まし合って友達と仲よく生きていってほしいと願っている。そこで、この願いを達成するために、総合主題『なかよく いきる』を設定した。

その達成のために、1学期の総合単元「むねを はって」では、まず基本的な生活習慣や善悪の判断、社会生活上のルールをしっかりと身に付け、節度ある生活態度や自制心を培うことに努めた。2学期の総合単元「こころと こころを むすんで」ではお互いを認め合い、様々な場面での学習活動や生活を通して助け合い、理解し合い、信頼感や友情を育てたい。3学期総合単元「みんなと きもちよく」では、自分を支えてくれている家族や地域の人たちにも思いを広げ、家庭や地域の人々と一緒に気持ちのよい生活を送れる態度を育てたいと考えた。

総合主題「なかよく いきる」の単元構成は、次の図のとおりである。



## 3 2学期総合単元名 こころと こころを むすんで

## 4 総合单元について

### (1) 单元設定の理由

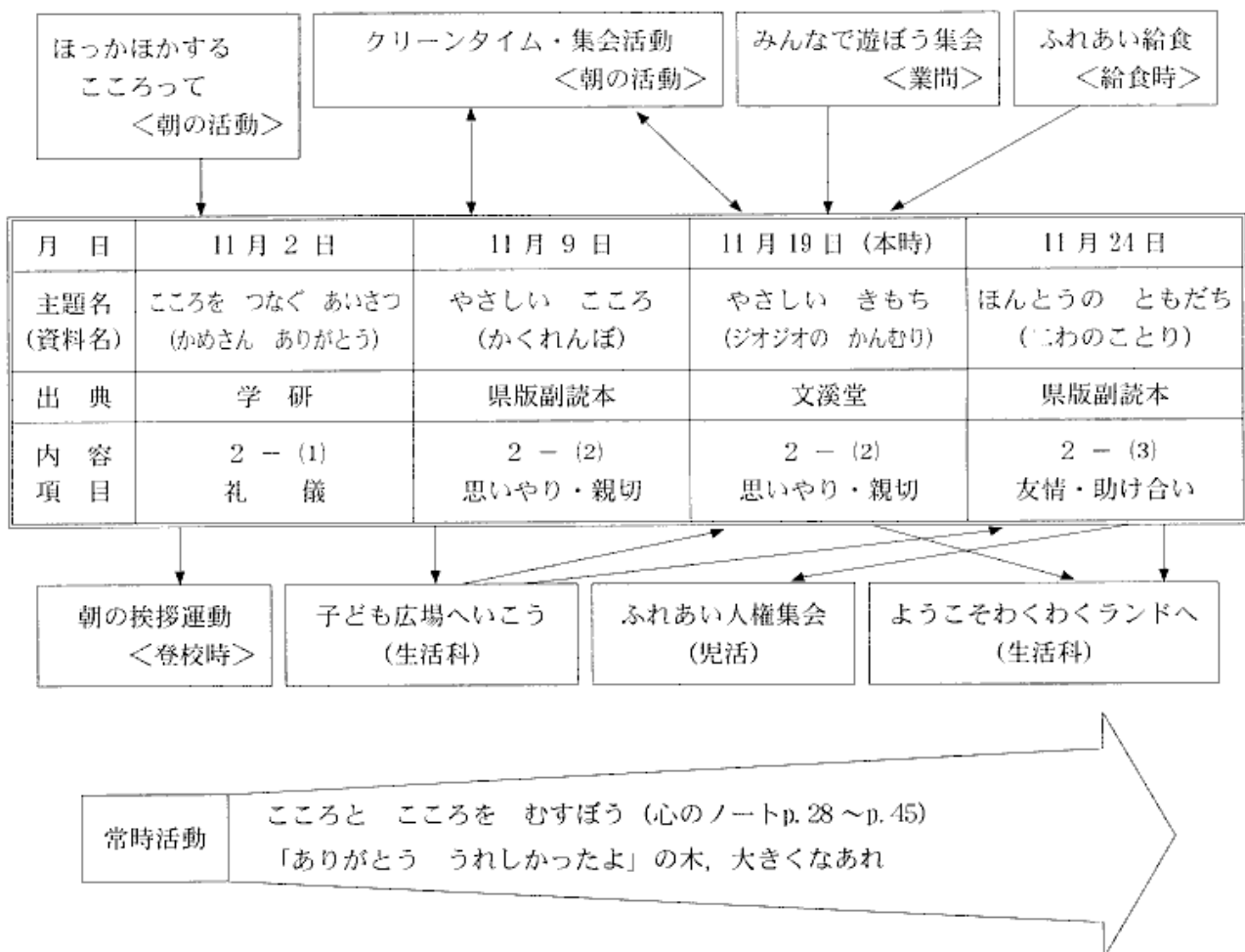
1学期は、総合单元「むねを はって」の学習を通して、学校生活に適應できるように、基本的な生活習慣や社会生活上のルールなどについて学習してきた。

1学期後半になると、学校生活にも慣れ、交友関係が広がり、お互いに声をかけあって遊びに行く姿が見られるようになってきた。また、困っている友達を見て助けようとする気持ちや友達が喜ぶことをしたいという心が育ってきた。自分のことだけでなく、少しずつ自分の周りのことにも目を向けることができるようになってきた。

そこで、学んだことを素直に実践しようという意欲が強いこの時期に「こころと こころを むすぶ」学習をすることは、今後の好ましい人間関係を育てる上で重要であると考えた。

この学習では、みんなで遊ぼう集会やふれあい給食（異年齢集団）・子ども広場（幼稚園児や2年生との交流）などの体験活動で異年齢の子ども達ともかかわり、交流の輪を広げ、多くの出会いを持たせ、お互いのよさを知り、認め合い、思いやり・親切にする心を育てたい。また、常時活動では、さらに「ありがとう うれしかったよ」カードを通して、友達や周りの人の優しさやよさに気付かせたい。そして、たくさんの友達と「こころと こころを むすぶ」ことができるようになってほしいと考えている。

### (2) 单元の構想



## 5 本時の学習

(1) 主 題 名 やさしい きもち

(2) 主題設定の理由

〈ねらいとする価値について〉

2 - (2)	身近にいる幼い人や高齢者に温かい心で接し、親切にする。
---------	-----------------------------

「親切にする」ことは、相手の立場や気持ちを推し量り、思いやりのある温かい心で接することである。思いやりの心を持ち、相手に親切にできることは、よりよい人間関係を築いていく上で欠かせない態度である。そのためには小さいころから相手の立場を考え、思いやりの心を持つことの大切さを指導する必要がある。具体的には、温かく接することや、相手の立場にたって励ましたり援助したりする親切な行為に結びつくよう指導していきたい。1年生の指導においては、人間関係の広がりや発達段階から、まず身近にいる友人や幼い子に対し、相手の立場を考え親切にすることをしっかり身に付けるようにさせたい。

〈児童の実態について〉

1年生の児童にとって、相手の立場や気持ちを考えて行動することはなかなか難しいことである。学級での生活を見ても、ささいなことでトラブルを起こしたり、相手がどう思おうとかまわず親切の押し売りをしたり、また、せっかくの友達の親切を、おせっかいだと受け取ったりする場面がしばしば見られる。一方では、困った友達がいると優しく手を差し延べるなど少しずつ相手の立場や気持ちを考えて行動できる態度が育ってきている児童も見られる。

〈資料について〉 資料名「ジオジオのかんむり」1ねんせいのどうとく（文溪堂）

ライオンの中では一番強かったが、年をとってきりんやしままを追いかけるのが嫌になり、つまらない日々を過ごしていたジオジオ。そんなある日、卵をみんななくしてしまってつまらないという灰色の鳥に出会う。灰色の鳥の卵を守るためにジオジオの冠の中に卵を産ませ、卵を大切に守る。春が来てひなが7つ生まれ、日がよく見えないジオジオは、小鳥の声をうれしそうにじっと聞いていたという内容である。

つまらなかったジオジオが灰色の鳥のために考え、行動し、変わっていく様子をとらえさせることが大切である。特に最後の場面で小鳥の声をうれしそうに聞くジオジオの優しい気持ち、満足感に共感させたい。

〈授業の工夫について〉

① 資料提示の工夫

児童の意識のつながりと集中力の高まりをねらうため、場面絵を使い、語り聞かせたい。

② 役割演技の効果的な活用

主人公ジオジオが灰色の鳥の卵を冠にあずかり、大切にしようとする思いやりの気持ちや親切にされた灰色の鳥の気持ちなどを役割演技で理解を深める。

③ 体験したことを生かす工夫

児童が生き生きと活動している写真や幼稚園児の感謝の声を用意する。教師は親切という価値にかかわる児童の言動を記録しておく。児童は「ありがとう うれしかったよ」カードに記録をしておく。

(3) ね ら い

身近にいる友人や幼い人に温かい心で接し、親切にしようとする心情や態度を育てる。

(4) 展 開

学 習 活 動	児 童 の 思 い	指 導 上 の 留 意 点
1 ライオンのイメージについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 強そう。</li> <li>● 恐そう。</li> <li>● 優しいライオンもいるよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ライオンのイメージを話し合うことで、資料への関心を高める。</li> </ul>
2 資料「ジオジオのかんむり」の話を聞き、話し合う。 (1) 強いけれど本当はつまらないジオジオの気持ち (2) 卵がみんななくなったという、灰色の鳥の話を聞いた、ジオジオの気持ち (3) 灰色の卵を冠にあずかったジオジオの気持ち (4) ひなが生まれたときのジオジオの気持ち	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 友達がいらないから、独りぼっちでつまらない。</li> <li>● 話し相手がいらないから、つまらない。</li> <li>● かわいそう。</li> <li>● 灰色の鳥を何とか助けたい。</li> <li>● ぼくにできることはないかな。</li> <li>● 卵を大切に守ろう。</li> <li>● 落とさないようにゆっくり歩こう。</li> <li>● 鳥さんのお父さんになったようだ。</li> <li>● 元気なひなが生まれてよかったな。</li> <li>● いいことをしてよかったな。</li> <li>● ひなが元気に育つといいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 強いのにつまらないというジオジオの気持ちを深く考えるようにする。</li> <li>● つまらなかつたジオジオが、灰色の鳥の話を聞いて鳥のためになんとかしようとする気持ちを押さえる。</li> <li>● ジオジオと鳥の役割演技をすることで、ジオジオが卵を大切にしようとしている姿をとらえさせる。</li> <li>● 小鳥の声を聞いているジオジオの満足感に共感させる。</li> </ul>
3 自分たちの生活を振り返り、親切にしたり、しようと思ったけどできなかつたりした経験について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消しゴムが見つからないとき、いっしょに捜した。見つかってうれしかった。</li> <li>● 子ども広場で幼稚園の子に先にしたい遊びを譲った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分達の体験を話し合い親切な行動をしたときのよさを確認し、実践への意欲化を図る。</li> </ul>
4 親切な行動について思いを深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ありがとう うれしかったよ」の木を大きくしていきたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 思いやりの気持ちを持ち、親切にすることのよさが心に残るようにする。</li> </ul>

(5) 評価の観点

- 強くてもつまらない気持ちのジオジオが、初めて思いやりのある行動をしたときの気持ちのよさに共感することができたか。
- 他者を思いやる親切な行動は、相手も自分もよい気持ちになることが理解できたか。
- 友人や幼い人を思いやり親切にすることの大切さに気付き、それを行動に移そうとする意欲がもてたか。